

<報道関係各位>

2008年12月10日

株式会社ベネッセコーポレーション
代表取締役社長兼 COO 福島保
(コード番号 9783 東証・大証第一部)

**「こどもちゃれんじ」× ハウス食品 共同企画
「おやこでいっしょにつくろうキャンペーン」を2009年1月1日～3月31日で実施
カレー作りのお手伝い体験を通して楽しい食卓をご提案！**

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、社長兼 COO：福島 保）の幼児の教育・生活支援ブランド「こどもちゃれんじ」は、ハウス食品株式会社（社長：小瀬 昉）と、2009年1月1日から3月31日にかけて、親子の楽しい食卓を応援する「おやこでいっしょにつくろうキャンペーン」を全国で共同展開します。

今回のキャンペーンは、ハウス食品の対象商品のバーコード2枚（うち1枚はバーモントカレーを含む）をはがきに貼って応募すると、「こどもちゃれんじ」企画で、子どもの「お手伝いしてみたい！」という気持ちを応援する「わくわくおてつだいエプロン（はりきりおてつだい BOOK 付き）」を抽選で合計3万名様にプレゼントするというものです。また、ハウス食品「バーモントカレー甘口 250g」のパッケージに、キャンペーン期間中（3月末頃まで）、「こどもちゃれんじ」のキャラクターであり子どもたちに大人気の「しまじろう」をデザインしたキャンペーン告知を掲載します。

【キャンペーン実施の背景】

子どもの発達段階に合わせて親子のよりよいコミュニケーションの時間を提供する「こどもちゃれんじ」と、「食を通じて家庭の幸せに役立つ」を企業理念とするハウス食品の、当キャンペーンを通じて親子の楽しい食卓シーンを作っていきたいという思いが一致し、共同展開をするに至りました。

「こどもちゃれんじ」は、20周年にあたる2008年度より食育をテーマにした取り組みを強化し、教材など家庭内での食卓コミュニケーションの活性化につながる情報・体験などを提供しています。

当キャンペーンは、子どもの「食」応援の観点から、「お手伝い体験を通じてお子様が食材に興味を持つこと」、「自分で作ることの達成感を味わうこと」や、「親子のコミュニケーションを促進すること」を目的にしています。

カレーライス、小さな子どもたちにもお手伝いできるシーンがたくさんあり、家庭で親子が一緒に作る料理として一番人気の高いメニューです（添付の弊社調査データ参照）。また、ハウス食品では、「自分で作って食べる」ことを体験し、食への興味をもっと広げてほしいという願いから、「はじめてクッキング」教室を始め、今年で13年目を迎えています。昨年までにのべ約295万人の子どもたちが、幼稚園・保育所で初めてのカレー作りの体験をしており、「こどもちゃれんじ」としても活動に共感し、当キャンペーンを共同企画致しました。

両社では、子どもたちのカレー作りのお手伝い体験を通して、親子の食卓がより楽しく豊かなものになることを願っています。



【キャンペーン概要】

- キャンペーン名称: たのしい！おいしい！食卓を応援「おやこでいっしょにつくろうキャンペーン」



- 応募期間: 2009 年 1 月 1 日～3 月 31 日
- 応募締切: 応募期間中、計 3 回、毎月応募締め切りがあります。当日消印有効
第 1 回 2009 年 1 月 31 日(土) 第 2 回 2009 年 2 月 28 日(土)
第 3 回 2009 年 3 月 31 日(火)
- プレゼントグッズ: 「こどもちゃれんじ」企画による、カレーを含めた食事作りのお手伝い体験を
応援するお子さま向けグッズを合計 30,000 名様に抽選でプレゼント。

「わくわくおてつだいエプロン」と「はりきりおてつだい BOOK」

(できたよ！シールつき)



お子さまにぴったりのお手伝いをご紹介

おしゃれなカフェエプロンタイプ

※プレゼントのデザイン・内容は変わる可能性があります。バンダナはプレゼントに含まれません。

- 応募方法:
店頭にある専用の応募ハガキか、キャンペーンサイト : vmt.jp/oyako/ に応募方法の詳細を掲載。
ハウス食品対象商品のバーコード部分を切り取り、2 枚 1 口(※)として専用応募ハガキや郵便ハガキに貼り、必要事項を明記のうえ、郵送でご応募ください(ハガキ1枚につき最大 2 口分までは応募可能)。
※バーコード 2 枚のうち、1 枚はバーモントカレーを必須とします。
- 応募先:
〒370-8765 高崎支店 郵便私書箱第 1 号
(株)ベネッセコーポレーション「おやこでいっしょにつくろうキャンペーン」係

■ **対象商品:**

【ルウ】バーモントカレー、プライムバーモントカレー、プライムジャワカレー、ジャワカレー、こくまろカレー、こくまろカレースペシャル、ザ・カレー、印度カレー、海の幸カレー、香味焙煎カレーフレック、スープカリーの匠ペーストタイプ、北海道ホワイトカレー、バーモントカレーキッズ、バーモントハヤシ、完熟トマトのハヤシライスソース、こくまろハヤシ、熟成デミグラスソースのハッシュドビーフ、ハッシュドビーフ、ビストロシェフハッシュドビーフ

【カレー関連】カレー鍋つゆ、カレーパートナー各種

■ **キャンペーン告知:**

専用キャンペーンサイト : vmt.jp/oyako/

ベネッセ おやこみらいプロジェクトサイト: <https://20th.benesse.ne.jp/>

TV生コマーシャル

バーモントカレー甘口 250g (右記参照)

店頭ハガキ・TOP ボード

メルマガ配信

ベネッセ発行雑誌(たまひよ こっこクラブ 2月号)

「こどもちゃれんじ」教材内「月刊子どもを学ぶ」(対象:「こどもちゃれんじ」会員約 124 万人)



※パッケージの側面に以下のデザインが入ります



■ **お問合せ先**

キャンペーン事務局:

「こどもちゃれんじ」【フリーコール】0120-55-4103 (10:00~20:00、日・祝・年末年始を除く)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報・IR 部 担当:坂本、濱野、西沢、中島

電話:042-356-0657 FAX:042-356-7301

ご参考資料

「お手伝い」がテーマの子どもの食育体験は、「カレー作り」が NO.1 !

■ あなたがご家庭で親子と一緒に作る料理としてはどのようなものを思い浮かべますか？(MA)

順位	料理名	票数	%
1	カレー	260	41.9%
2	ハンバーグ	125	20.2%
3	ホットケーキ	124	20.0%
4	餃子	105	16.9%
5	クッキー	98	15.8%
6	シチュー	55	8.9%
7	お好み焼き	50	8.1%
8	ケーキ	44	7.1%
9	パン	42	6.8%
10	サラダ	41	6.6%
10	手巻き寿司	41	6.6%
12	おにぎり	38	6.1%
12	お菓子作り	38	6.1%
14	オムライス	22	3.5%
14	たこ焼き	22	3.5%
16	サンドイッチ	19	3.1%
17	コロッケ	14	2.3%
17	ピザ	14	2.3%
19	ドーナツ	13	2.1%
19	焼きそば	13	2.1%

出典：ベネッセ こどもちゃれんじ調査『親子で一緒に作る料理の調査結果』より

- ◆ 調査実施期間：2008 年 6 月実施
- ◆ 調査対象：全国の幼児・児童(0~6 歳)を持つ保護者 620 人
- ◆ 調査方法：インターネットを使ったアンケート形式

参考資料:「こどもちゃれんじ」20周年 「食育」の取り組み

(2008年12月現在)

■TV番組内で「食育」を発信

TV番組「はっけん たいけん だいすき! しまじろう」※の体験コーナーで扱うテーマの一つが「食育」。しまじろうと子どもたちがパンやおにぎりを作ったり、かぶを種から育てたりする体験を放送し、お子さまの「食」への関心を高めていきたいと考えています。

2008年4月～

※「はっけん たいけん だいすき! しまじろう」
テレビせとうち制作 テレビ東京系列6局ネット毎週月曜日朝7:30～8:00放送
ほか27局で放送中



■「食育」をテーマにしたWEBサイト

「食」応援の情報サイト。ご家庭での食育アイデアやごはんのときの心温まるエピソードが集まるコーナーを開設。お子さんと一緒に楽しみながら取り組める食育ゲームもあります。

2008年9月～

<http://www.shimajiro.co.jp/life/>



■食育ソング「うまうまヤマム」

TV番組「はっけん たいけん だいすき! しまじろう」と連動した取り組みとして、食育キャンペーンソング「うまうまヤマム」を制作。12月にはコロムビアミュージックエンタテインメントよりCDも発表し、「こどもちゃれんじ」の会員の方はじめ、たくさんの親子にお届けしています。

2008年11月～



■他企業とのコラボレーション

家族の笑顔が生まれるよりよい食卓づくりのために、カゴメ株式会社と共同で子どもの「食」をテーマにしたキャンペーンを展開しました。

2008年9月～12月



以下は「こどもちゃれんじ」の会員限定の取り組み

■「食」応援の情報冊子の配布

食えることは、命をはぐくみ、心をはぐくみこと。20周年をむかえ、「こどもちゃれんじ」の考える「食」応援のメッセージや生活のご提案を、すべての「こどもちゃれんじ」会員の保護者の方へ、小冊子にしてお届けしました。

2008年10月



■教材カリキュラムの中で「食」応援

お子さんの年齢に合わせ、「食のだいじ」を教材カリキュラムの中でお届けしています。子どもの目線で、わかりやすく「食」応援の取り組みを推進。

2008年10月～

